

平成 26 年 12 月期 中間決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成 26 年 8 月 28 日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社はかた匠工芸  
コード番号 3610 URL <http://www.takumikougei.jp>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 酒井 茂  
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長（氏名） 今里 恵子 TEL 092-581-7232  
中間発行者情報提出予定日 平成 26 年 9 月 30 日  
配当支払開始予定日 —  
中間決算補足説明資料作成の有無 : 無  
中間決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成 26 年 12 月期中間期の業績（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は対前年同期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26 年 12 月期中間期	162	—	△50	—	△50	—	△57	—
25 年 12 月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1 株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1 株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
26 年 12 月期中間期	△112.09	—
25 年 12 月期中間期	—	—

（注）1. 当社は、平成 25 年 11 月 1 日付で普通株式 1 株につき 400 株の割合で株式分割を行っております。このため 1 株当たり中間純利益は、当該株式分割が当中間会計期間の開始日に行われたと仮定して算定しております。

2. 潜在株式調整後 1 株当たり中間純利益については、1 株当たり中間純損失を計上しているため記載しておりません。

3. 当社は、平成 25 年 12 月期中間期においては、中間財務諸表を作成していないため、平成 25 年 11 月期中間期の数値及び対前年増減率を記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26 年 12 月期中間期	261	62	23.1	121.59
25 年 12 月期	257	116	45.2	226.26

（参考）自己資本 26 年 12 月期中間期 60 百万円 25 年 12 月期 116 百万円

（注）当社は平成 25 年 11 月 1 日付で普通株式 1 株につき 400 株の割合で株式分割を行っております。このため前会計期間の期首に当該分割が行われたと仮定して 1 株当たり純資産額を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
25 年 12 月期	0.00	0.00	0.00
26 年 12 月期	0.00	—	—
26 年 12 月期(予想)	—	0.00	0.00

3. 平成 26 年 12 月期の業績予想（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
通期	639	209.8	5	—	4	—	2	—	4.71	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理及び簡便な会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期中間期	517,700株	25年12月期	514,000株
② 期末自己株式数	26年12月期中間期	－株	25年12月期	－株
③ 期中平均株式数	26年12月期中間期	516,514株	25年12月期中間期	－株

当社は平成25年11月1日付で普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っております。このため、前会計期間の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この中間決算短信は、金融商品取引法に基づく中間監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく中間財務諸表の中間監査手続は終了していません。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	2
(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理及び簡便な会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 中間財務諸表 .....	3
(1) 中間貸借対照表 .....	3
(2) 中間損益計算書 .....	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(5) セグメント情報等 .....	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(7) 重要な後発事象 .....	7

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、提出日現在において当社が判断したものであります。

### （1） 経営成績に関する定性的情報

当中間会計期間におけるわが国経済は、安倍政権による成長戦略の効果により、雇用情勢が改善し、企業の設備投資が増加傾向にある等、景気は緩やかな回復基調となっております。また、4月からの消費税増税の影響を受け、一時的に増税前の駆け込み需要の反動減が表面化したものの、すでに影響は薄れ、緩やかな回復基調で推移しております。

この状況下、当社は、4月に男きもの専門店SAMURAIを東京銀座・京都祇園にオープンし、男きもの事業の推進を経営の重点施策と位置付け、製造を男きもの事業に注力するとともに、平成26年6月期までの中期経営計画の達成を目指した販売体制の強化を継続してまいりました。

一方、男きもの事業につきましては引き続き受注状況が好調であります。原材料の仕入れ価格の上昇や、消費税増税等に伴う値引きにより、原価率が上昇傾向にあります。

これらの結果、当中間会計期間における売上高は162,200千円、営業損失は50,801千円、経常損失は50,670千円、中間純損失は、57,894千円となりました。

### （2） 財政状態に関する定性的情報

#### （流動資産）

当中間会計期間末における流動資産の残高は170,946千円で、前事業年度末に比べ11,064千円減少しております。現金及び預金の減少47,826千円が主な変動要因であります。

#### （固定資産）

当中間会計期間末における固定資産の残高は90,403千円で、前事業年度末に比べ15,001千円増加しております。建物の増加17,995千円が主な変動要因であります。

#### （流動負債）

当中間会計期間末における流動負債の残高は98,755千円で、前事業年度末に比べ65,261千円増加しております。前受金の増加50,235千円が主な変動要因であります。

#### （固定負債）

当中間会計期間末における固定負債の残高は99,648千円で、前事業年度末に比べ7,588千円減少しております。長期借入金の減少7,588千円が主な変動要因であります。

#### （純資産）

当中間会計期間末における純資産の残高は62,946千円で、前事業年度末に比べ53,736千円減少しております。当中間会計期間の中間純損失による減少57,894千円が主要な変動要因であります。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### （1） 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （2） 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 中間財務諸表  
(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当中間会計期間 (平成26年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	68,646	20,819
売掛金	600	204
たな卸資産	103,001	121,942
前渡金	1,741	18,733
その他	8,237	9,249
貸倒引当金	△215	△2
流動資産合計	182,011	170,946
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,396	24,391
工具、器具及び備品(純額)	520	967
土地	63,762	63,762
有形固定資産合計	70,679	89,122
無形固定資産	—	1,211
投資その他の資産	4,722	70
固定資産合計	75,402	90,403
資産合計	257,413	261,350

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当中間会計期間 (平成25年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,050	5,216
短期借入金	—	5,000
1年内返済予定の長期借入金	13,008	13,008
未払法人税等	655	304
前受金	10,918	61,154
その他	6,862	14,073
流動負債合計	33,494	98,755
固定負債		
長期借入金	107,236	99,648
固定負債合計	107,236	99,648
負債合計	140,730	198,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	107,000	108,850
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	9,298	△48,596
利益剰余金合計	9,298	△48,596
株主資本合計	116,298	60,253
新株予約権	384	2,692
純資産合計	116,682	62,946
負債純資産合計	257,413	261,350

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	当中間会計期間
	(自 平成26年 1 月 1 日
	至 平成26年 6 月30日)
売上高	162,200
売上原価	71,328
売上総利益	90,872
販売費及び一般管理費	141,673
営業損失(△)	△50,801
営業外収益	964
営業外費用	833
経常損失(△)	△50,670
税引前中間純損失(△)	△50,670
法人税、住民税及び事業税	195
法人税等調整額	7,028
法人税等合計	7,223
中間純損失(△)	△57,894

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当中間会計期間	
	(自 平成26年 1 月 1 日	至 平成26年 6 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純損失 (△)		△50,670
減価償却費		1,031
貸倒引当金の増減額 (△は減少)		△213
受取利息		△3
支払利息		533
売上債権の増減額 (△は増加)		396
たな卸資産の増減額 (△は増加)		△18,941
その他資産の増減額 (△は増加)		△80,050
仕入債務の増減額 (△は減少)		3,165
前受金の増減額 (△は減少)		108,034
その他負債の増減額 (△は減少)		7,784
その他		3,532
小計		△25,401
利息の受取額		3
利息の支払額		△439
法人税等の支払額		△546
営業活動によるキャッシュ・フロー		△26,383
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出		△19,339
無形固定資産の取得による支出		△1,346
その他		△20
投資活動によるキャッシュ・フロー		△20,705
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)		5,000
長期借入金の返済による支出		△7,588
株式の発行による収入		1,850
財務活動によるキャッシュ・フロー		△738
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)		△47,826
現金及び現金同等物の期首残高		68,646
現金及び現金同等物の中間期末残高		20,819

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

当社は、織物製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。